

都市公園事業

再評価原案準備書

国立民族共生公園

令和元年度
北海道開発局

事業名 (箇所名)	国立民族共生公園		担当課		事業 主体	北海道開発局				
実施箇所	北海道白老郡白老町若草町2丁目									
該当基準	事業をめぐる社会経済情勢等の変化									
主な事業の諸元	公園整備 : 計画面積9.6ha、供用面積0.0ha 公園維持管理 : 供用面積0.0ha									
事業期間	事業採択	平成28年度	完了	令和2年度						
総事業費(億円)	80		残事業費(億円)		17					
目的・必要性	<p><解決すべき課題・背景></p> <ul style="list-style-type: none"> 国立民族共生公園は、アイヌ文化の復興等に関するナショナルセンターとして、アイヌの歴史・文化等に関する国民各層の幅広い理解の促進拠点並びに将来への文化継承及び新たなアイヌ文化の創造発展につながる拠点として設置される施設であり、閣議決定を経て事業化した公園である。 <p><達成すべき目標></p> <ul style="list-style-type: none"> 自然と共生してきたアイヌ文化への理解を深める。 異なる民族が互いに尊重し共生する社会のシンボルとなる空間を形成する。 豊かな自然を活用した憩いの場を提供する。 <p><政策体系上の位置付け></p> <ul style="list-style-type: none"> 政策目標: 良好な生活環境、自然環境の形成、バリアフリー社会の実現。 施策目標: 良好で緑豊かな都市空間の形成、歴史的風土の再生等を推進する。 									
便益の主な根拠	誘致距離: - 誘致圏人口: -									
事業全体の投資効率性	基準年度	-								
	B:総便益(億円)	-	C:総費用(億円)	-	全体B/C	-	B-C	-	EIRR (%)	-
残事業の投資効率性	B:総便益(億円)	-	C:総費用(億円)	-	継続B/C	-				
感度分析	<p>事業全体のB/C</p> <p>需 要 (-10% ~ +10%) -</p> <p>事 業 費 (+10% ~ -10%) -</p> <p>事業期間 (+10% ~ -10%) -</p>									
事業の効果等	<ul style="list-style-type: none"> アイヌ文化の継承、創造発展 アイヌ文化の理解及び交流の促進 地域活性化の促進 									
社会経済情勢等の変化	「アイヌ施策の総合的かつ効果的な推進を図るための基本的な方針」の閣議決定を踏まえ認可された「民族共生象徴空間構成施設管理業務規定」で定められた夜間開園や夜間コンテンツに対応可能な公園施設整備の必要が生じたもの									
主な事業の進捗状況	<ul style="list-style-type: none"> 平成30年度末までに全体事業費約80億円のうち約79%に当たる約63億円を執行 計画全体事業費約80億円、うち用地費約6億円 投資事業費約63億円(進捗率 約79%)、うち用地費約6.1億円(進捗率 100%) 用地確保面積約6.9 ha(用地確保率 100%) <p><未供用の場合、その理由></p> <ul style="list-style-type: none"> 2020年4月供用予定のため。 									
主な事業の進捗の見込み	2020年4月供用に向けて整備を進める。									
コスト縮減や代替案立案等の可能性	<p><コスト縮減の検討・実施状況></p> <ul style="list-style-type: none"> 植生を在来種を選定し、草刈り回数を減らすことによる、維持管理費のコスト縮減を図る。 照明本数を少なくすることにより、維持管理費のコスト縮減を図る。 									
対応方針	継続									
対応方針理由	事業の必要性、進捗の見込みの視点から総合的に判断したため。									
その他	<第三者委員会の意見・反映内容> -									